

# しろいしの 地方創生

～住みたいまち・住み続けたいまちを目指して～

市では、地域経済の発展や活力ある地域社会の形成を図り、少子化や人口減少を克服しようと、「白石市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、国の地方創生交付金などを活用しながらさまざまな「地方創生」事業に取り組んでいます。

今月号では、市が現在取り組んでいる主な地方創生事業や、今後実施していく事業についてご紹介します。

☎地方創生対策室 ☎22-1561

Creative 2

## 新しい人の流れをつくるために

### お試し住宅整備事業

白石の魅力に直接触れてもらい、移住後の生活を思い描いてもらうことを目的として、空き家を活用して短期的に生活体験ができる住宅を整備します。

### (仮称)移住支援センター整備事業

市中心部の空き店舗を活用して、「(仮称)移住支援センター」を整備します。同センターでは、移住・定住希望者の相談や移住・定住に関する情報発信、お試し住宅の運営をはじめ、「白石の魅力」を体感するツアーや「若者のU I J」ターンを促進するツアー」の企画などを行います。



▲空き店舗を活用する(仮称)移住支援センター整備予定地(東小路地内)

### 宮城野信夫・団七踊り魅力向上事業

江戸時代に歌舞伎などで上演された「暮太夫記白石囃子」がもととなり、全国に伝わった仇討ち話「団七踊り」に関連する史料や展示物の整備・調査、各種イベントの開催などを通して、新たな白石の魅力発信を強化します。



▲大鷹沢小の団七踊り引継式。真剣な表情で踊る児童たち

### 戊辰戦争150年魅力向上事業

平成30年は戊辰戦争から150年の節目となった白石城を藩同盟の舞台となった白石城をはじめ、関連する史跡や展示物の整備のほか、関連イベントの開催など、本市の歴史文化の魅力発信を進めます。

## 白石の地方創生事業戦略

- ①「教育環境の整備」「子育て支援」「移住定住の促進」「雇用の創出」などの分野で、独自性を持った事業を多面的に推進します。
- ②「農産物ブランド化・6次産業化推進」、「伝統産業の継承」、「白石の魅力向上事業」など、販売の創出や地域活性化を目指した地方創生の「核」となる事業を、国の交付金などを活用して積極的に展開します。

Creative 1

## 安定した雇用の創出のために

**ICT(情報通信)技術に対応した次世代技術者育成事業**  
学生をはじめ、スキル習得やキャリアアップを目指す方々にドローンなどICT技術の習得・体験ができるスクールの開設支援を行い、若者などの人材育成を促進します。

### 起業・継業セミナーの開催

東北財務局・日本政策金融公庫と連携して、仙南地域で新たに起業・創業・継業を検討している方々に、創業時の心構えや事例紹介の講演会、個別相談会などを行うセミナーを開催し、起業・創業の促進を図ります。

### 弥治郎こけし村 リノベーション事業

展示・販売・体験交流スペースなどを大幅に拡充させるリノベーション(大規模改装)を実施し、弥治郎こけしの伝承と魅力発信を強化します。

### 地域ブランド確立事業

地域資源を活用した新たな商

品開発(新白石三白)など、新たな地域ブランド創出に向けた取り組みを推進し、稼ぐ力の向上を進めます。

### 食味日本の「しろいし米」復活プロジェクト(継続)

平成28年3月、「食味日本一の「しろいし米」復活プロジェクト」が生産者5人で発足。平成元年に民間調査会社で実施した食味検査で日本一に輝いたササニシキ復活プロジェクトがスタートしました。本年度は、新たに2人が加わり、作付面積も3.5ヘクタールから6.5ヘクタールに拡大。農産物のブランド化に向けた取り組みを継続支援します。



▲2年目を迎えたササニシキ復活プロジェクト

～農工商振興施設と子育て支援・多世代交流複合施設を一体的に整備～

## 農工商 連携を核とした

## 賑わい交流拠点を整備します

若い世代を中心とした定住支援や子育て支援の強化を図るとともに、仕事と生活の調和のとれた魅力ある地域づくりを推進！ 福岡長袋地内の国道4号沿いの遊休施設を活用し、民間事業者と協力しながら「農産物等販売施設」や「地元食材活用レストラン」、「6次産業化加工施設」などの農工商振興施設と、大型遊具や交流スペースなどを備えた「子育て支援・多世代交流複合施設」を合わせた「農工商連携を核とした賑わい交流拠点」を、国の地方創生交付金を活用して平成29年度から平成31年度にかけて整備します。

### 施設所在予定地

白石市福岡長袋字八斗蔭地内ほか(敷地面積合計 約16,640m)  
【旧白石市学校給食センター、旧白石市生ゴミ資源化事業所、民間店舗跡地】

### 整備施設・整備開始予定年度

#### 【平成29年度から整備】

- 子育て支援・多世代交流複合施設
- 6次産業化加工施設

#### 【平成30年度から整備予定】

- 農産物等販売施設

#### 【平成31年度から整備予定】

- 地元食材活用レストラン
- 6次産業化商品開発・研修施設

※各施設は、平成30年度以降、順次オープン予定です。各施設の詳しい整備概要やオープン時期などは、随時広報しろいしなどでお知らせします。



▲農工商連携施設整備予定地空撮図(白石市福岡長袋地内)

結婚・出産・子育ての希望をかなえるために

子育て支援・多世代交流複合施設の整備

子育て・孫育て支援の充実と魅力ある地域づくりを推進するため、大型遊具を設置した年代別の遊戯コーナー、絵本コーナーなど、安心して遊べる屋内遊びの場を整備します。

一時預かり事業

子育て世帯がいきいき暮らすことができるよう一時的に家庭での保育が困難な場合など、南保保育園内で一時預かり事業を行っています。

小学校入学祝い金贈呈事業

第3子以降のお子さんの小学校入学時に図書カードを贈呈。将来を担う子どもたちを支援しています。



1. 4月5日、南保保育園内でスタートした一時預かり事業。低料金の保育サービスが受けられ、子育て世帯の負担を軽減する機会が増えるよう3万円を入学祝い金として贈呈

2

白石城歴史探訪ミュージアム・新作3D時代劇 撮影スタート！

白石 孝女の誉れ 宮城野信夫物語

白石の魅力向上を観光や歴史・文化の分野からアプローチを行うことで「地域の活性化」を図ろうと、地方創生推進交付金を活用して、白石城歴史探訪ミュージアムで来年度から上映する3D高画質映像を制作中です。6月19日から20日にかけて行われた第1回ロケでは、舞台となる大鷹沢地区の田んぼで、姉妹が泥を投げ合うシーンや、泥がかかった団七が、与太郎を切り捨てるシーンなどの撮影が行われました。10月には第2回ロケが行われ、仇討ちのシーンなどが撮影される予定です。



STORY

父親（与太郎）は、満千（宮城野）と園（信夫）と共に、八枚田で田の草取りの最中、たまたま通りかかった白石城下剣術指南志賀団七に泥がかかり、これを怒った団七が、謝罪の言動も聞き入れず、与太郎を切り捨てる。それを知った病床の母親も病を重くし息を引き取る。残された姉妹は、江戸に出て由井正雪の門をたたき、武道の修練を積み、白石郊外において、みごと仇を討つ。

主なキャスト



満千（宮城野）役 高橋 みちさん



園（信夫）役 里久鳴 祐果さん



志賀 団七 役 穴戸 開さん



由井 正雪 役 田中 健さん

穴戸さんと主役の2人にお話を聞きました



Q. 白石の印象を教えてください。

穴戸 白石は父親（俳優・穴戸錠）のゆかりの地ですが、この仕事に就く前は、一度も来たことはありませんでした。でも、子どものころから温麺には馴染みがありましたし、白石はちゃんと「しろいし」と呼んでいました。今回、白石を舞台にした作品に出演できたので、親孝行になったと思います。

Q. 物語の見どころを教えてください。

高橋 江戸で成長していく姉妹の姿と愛の力で父親の敵をとるところに注目してください！  
里久鳴 泣き虫だった妹が、仇討ちを決意し、強くたくましくなっていく姿を見てください！  
穴戸 悪役ですが、地元の人々がイメージする団七とは違った人間味ある団七を演じたいと思います。

地域おこし協力隊推進事業

都市部に住む人材の定住を目的とした「地域おこし協力隊」制度を活用。平成29年度は、地域ブランドや地場産品の開発・PRなど、農林業分野の隊員の確保に努めます。

城花町しろいし事業（継続）

昨年12月、市民有志で結成した「面白石の会」を中心に、大勢の子どもたちも参加して、白石城で桜の木の植樹や施肥、スイセンの球根植栽を行いました。今後も各団体や地区の皆さんによる公園などへの花植えやオーブンガーデンの推進など、花や緑を育てる環境作りを推進し地域づくりの人材育成を目指します。



▲都市部の視点や若者の視点を取り入れた活動を強化

安心な暮らしを守るために

このほかの主な継続事業

しろいし農産物ブランド化推進事業

小十郎の郷など市内農産物直売所で販売される農産物の充実を図るため、「白いトウモロコシ（ビュアホワイト）」をはじめ、「サトイモ」「白いカボチャ」「キクイモ」などの試験栽培を行うなど、栽培・販売を強化する取り組みを引き続き支援します。

伝統産業継承事業

白石和紙や弥治郎こけしといった伝統工芸品の後継者育成と技術の伝承を図ります。

子ども医療費助成の拡充

子育て家庭の経済的負担の軽減を図るため、中学校3年生までの通院と入院の医療費について所得に関係なく助成を行っています。